

平成29年2月23日

平成29年度 自動走行実証推進事業への応募申請書

	市町村名	知立市
連絡先	部署名	企画部企画政策課
	担当者役職・氏名	課長補佐 加藤
	電話番号	0566-95-0114 (直通)
	FAX番号	0566-83-1141
	メールアドレス	kikaku-seisaku@city.chiryu.lg.jp

○ 本事業への応募理由

本事業への応募理由、狙い等について、自動走行システムへの期待やそれを活用することにより解決すべき行政課題を含めて記載してください。併せて、実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等も記載してください（今年度実施した地域におかれては、その点も踏まえて記載してください）。

テーマ：施設利用者の利便性向上及び違法駐車解消

(1) 実証地域（ルート）において、自動走行システムを活用することにより、解決すべき行政課題（高齢者対策、交通不便地対策、観光振興対策等）が存在すること。

知立駅から文化会館までは少し距離があるためイベント等の開催時には駐車場が不足し、周辺への迷惑駐車が目立つ。知立駅からの市内巡回バスルートは存在しているが、便数が不足し利便性が悪い状況にある。臨時の送迎バスが効果的な場合は主催者側で用意することもあるが、利用者が集中してしまい混雑する。かつ、まだまだ自家用車の利用が多く公共交通機関への誘導が進まない。

(2) 実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等が明確なこと（市町村のまちづくり計画等への位置付けや、市町村や地域の交通事業者等との関係者が連携し施策を具体化する体制の構築が見込まれることなど）。

文化会館は刈谷市の利用者が多いため、碧南方面からの利用者を含めて重原駅からの送迎を組み込むことにより、知立駅に集中する利用者を分散する効果が期待できる。ルート
の延長線上には刈谷駅も存在するので、JR利用者の誘導も可能と考えられ、公共交通機
関の利用促進により駐車場不足解消や迷惑駐車車の減少につなげる。

○ 実証実験実施場所、ルートの詳細

以下の点を記載及び地図に明示してください。路線内にある信号交差点、起点・終点場
所、主要な施設（駅、病院、公共施設等）を示してください。

- 1 ルート（起点→終点）
名鉄重原駅→知立市文化会館（パティオ池鯉鮒）
- 2 ルート（地図）



- 3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）
なし
- 4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	片道約1.6キロ
車線数	片側1車線（一部に一方通行で対面交通のない区間あり）

道路構造	全区間歩車分離（一部にガードレールのない区間あり）、アンダーパス区間は勾配あり
道路種別	市道知立中央通線及び国道23号線高架下側道
トンネル、踏切	トンネルと踏切はないが、一部に鉄道のアンダーパスあり
交通量	通勤時間帯以外の混雑なし
交差点	右左折する四差路4か所
起点・終点	起点：名鉄重原駅 終点：知立市文化会館（パティオ池鯉鮒） 駐停車場所、モニター調査実施場所の確保可能
その他特記事項	車両待機場所が保育園のため、安全確保の観点から園児の登降園時使用不可。終点となる文化会館は大規模イベント開催時混雑のため回避の必要あり。

5 写真（次のものを貼り付けてください。Google ストリートビューなどでも可。容量はワードファイル全体で5MB以下としてください。）

- (1) 道路の様子（主要地点数カ所）
- (2) 起点、終点場所（駅、公共施設等）
- (3) 車両待機場所（起点・終点場所と異なる場合）

6 高精度3Dマップの有無

有（平成29年度整備予定の場合は、時期を明記してください。また、「有」の場合は、そのルートも記載してください。）

⑨ 無

7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組（実績、平成29年度の予定・予算措置状況等）

なし

8 その他参考資料（ある場合は添付）